



生かされ、生きるチカラ。

社員・取引先があって、 いまの自分がある。 だから、仕事をとおして 社会に貢献したい。

浦和教会 町田信行さん

町田信行さんは、埼玉県戸田市で業務用厨房機器を製造・販売する株式会社三和ステンレス(昭和55年創業)の社長を務めている。創業から30余年、バブル崩壊や金融危機など幾多の不況を乗り越えて、着実に業績を伸ばしてきた。どんな小さな仕事でも手を抜かず、注文主から「これはいい製品だね」と喜んでもらおうとする仕事ぶりが高い評価を得ている。町田さんの経営哲学は人を大切にすること。月に一度の朝礼では、法華経の教えを社員に説き、だれもが仕事にやりがいと誇りをもって働けるよう、心の育成にも励んでいる。「私は社員や顧客の喜びにつながる経営を心がけてきました。それでも、まだまだこれからです」と語る町田さんの背中にはあたたかく、頼もしい。



「生かされている」の 気づき

私たちは、つい感情のおもむくままにふるまい、苦惱を招いてしまうことがあります。その私たちも、真理を認識することにより、ものごとのありのままが見えてきて、冷静になることができ、要するに「だれ一人として自分の力で生きていくものではなく、私たちはあらゆるものに生かされています、ここにある」ということを教え示しています。そのことを知る、つまり生かされていることに気づくと、この世のすべてに感謝せずにはいられません。そしてその感謝の気持ちには、「ありがとう」という言葉になり、やさしい態度となって表れるのです。ふれあう人とのあいだを和ませるこのような言動は、きつとあたたかな縁を育み、対立していた人と仲よくなる可能性も広がることでしょう。

立正佼成会